エックスキャプチャー・ミニ

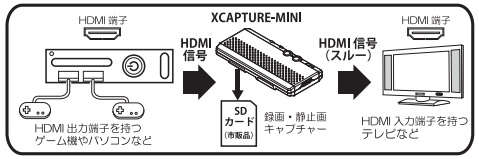
XCAPTURE-MINI

COMPACT HDMI VIDEO RECORDER UNIT

この度は「XCAPTURE-MINI」をお買い上げいただき、誠に有り難うございます。
本機をご利用前に本書をよくお読みいただき、正しい操作と接続で本機をご使用ください。

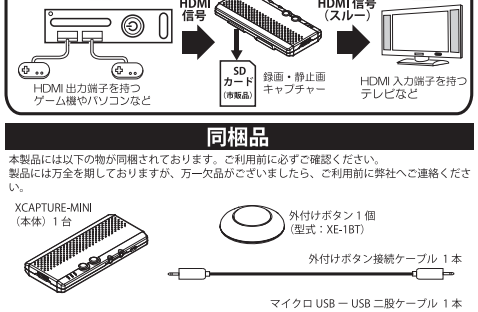
XCAPTURE-MINI とは

「XCAPTURE-MINI（以下「本機」と記載）」は AV 機器の HDMI 端子から出力されるデジタルの映像と音声を動画で録画、または静止画で記録することが可能な HDMI レコーダー・ユニットです。
市販の SD メモリーカードを本機に接続することで、720p や 1080p の様なハイビジョン画質の映像も録画することができます。
また、HDMI 信号のスルー出力も備えているためゲームをプレイしながらの録画が可能となります。



同梱品

本製品には以下の物が同梱されております。ご利用前に必ずご確認ください。
製品には万全を期しておりますが、万一欠品がございましたら、ご利用前に弊社へご連絡ください。



※ボタン電池の規格は「CR2025」です。
※同梱のボタン電池は動作確認用です。電池切れになったら市販品をご購入ください。

仕様

入力	HDMI HighSpeed（HDMI 1.2） 19 ピン・HDMI 端子（TypeA） 1 系統 TMDS 方式（シングルリンク）：帯域幅 148.5MHz 映像解像度：480p（60p）/720p（60p）/1080i（60i）/1080p（60p） 音声解像度：LinearPCM 2ch（48kHz）
出力	19 ピン・HDMI 端子（TypeA） 1 系統 TMDS 方式（シングルリンク）：帯域幅 148.5MHz 入力からのパススルー（CEC もパススルーします）
録画 / 記録方式	動画圧縮方式：MPEG-4 映像：H.264（AVC） 音声：AAC（ステレオ 2ch） 静止画圧縮方式：JPEG 録画 / 静止画解像度：入力解像度のピクセル数で録画（スケーリング無し） ※1080p（60p）映像は 1080p（30p）で録画されます。 ※1080i（60i）映像は 1080p（30p）で録画されます。
対応ストレージ	SD カード（SDHC）に対応 容量：32GGyte 以下 FAT32 転送速度：CLASS 4 以上（CLASS6 以上を推奨）※UHS には未対応です。
USB/ 電源（micro USB）	micro USB 端子（パソコンと接続して時計の設定 / 電源の供給に使用します）USB2.0 電圧：5V、電流：1A（SD メモリーカード接続時：実測 650 ～ 700mA を使用） 同梱の接続ケーブルを使用し、パソコンまたはゲーム機の USB 2.0 端子より供給（DC 5V/500mA：2 個、または パワード USB 端子 5V/1A：1 個を使用）。 もしくは、市販の USB 電源アダプター（USB 端子 5V/500mA が 2 個あるもの、または USB 端子 1 個で 5V/1A 供給可能な製品）をご利用ください。

※ SD メモリーカードや HDMI ケーブルは付属しておりません。別途市販品をお買い求めください。
※ 時計機能は設定なしでも本機はご利用頂けますが、録画ファイルに録画時間などのファイル情報が含まれないため、パソコンでのファイル閲覧時に不便です。できるだけ、時計機能を設定してください。
※ 本機の EDID 解像度は 1080p（60p）で指定されておりますので入力側の機器の解像度が「自動」の場合は、1080p の画面解像度となります。このため、480p、720p、1080i の解像度は、機器が 1080p より低い解像度しか持たない場合、ゲームやソフトウェアの制限がある場合、または入力側の機器の解像度を手動で設定できる場合にご利用頂けます。
※ EDID 解像度は本機のものが使用されますので、入力側に接続した機器は、その機器やソフトウェアの制限が無い限り、1080p（60p）の映像を出力します。出力側（スルー出力）に接続したテレビなどの EDID 情報は利用されません。このため、本機の EDID 解像度と、テレビの対応解像度が異なる場合、解像度の違いによりスルー出力に接続されたテレビなどに映像が映らない場合があります。スルー出力は 1080p 対応のテレビに接続することをお勧めします。
※ 本製品には HDMI 規格の映像信号に対応したハードウェアエンコーダー IC を使用しています。このため DVI 端子の映像信号や解像度（VESA 解像度）、DVI の EDID 情報、を持つ機器やディスプレイ、HDMI 端子を持つ機器でも HDMI 規格から外れる信号の録画や記録動作保証いたしかねます（エンコーダー IC で受けられない特殊なゲーム機の映像、独自の信号を出力する医療機器や監視カメラの映像などを含む）。

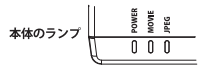
＜製品内容に関するお問い合わせ先＞
マイコンソフト株式会社
〒541-0041 大阪市中央区北浜 3 丁目 2 番 25 号
京阪淀屋橋ビル 6 階 電波新聞社・大阪本社内
TEL 06-6203-2827
Web ページ： http://www.micomsoft.co.jp/
※Web ページからもお問い合わせ可能です。

DOCREV. 201408A

＜商標に関する記述＞
●Wii U のロゴ・Wii U は任天堂の商標です。
●Microsoft、Windows、Windows7、Windows8、Xbox360、Xbox one またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
●"Blu-ray Disc™" および "Blu-ray™" はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
●Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
●Phone、iPad は Apple Inc. の商標です。
●「PlayStation」、「プレイステーション」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
「PS Vita」は同社の商標です
●HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の商標または登録商標です。
●その他の商品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

ランプ（LED）の動作と意味に関して

本機には、3 つのランプ（LED）があり、本機の状態を確認することができます。



	緑	緑で点滅	赤	赤で点滅
電源ランプ（POWER）	電源オン （SD カード良好）	起動中 ※起動中は、録画・記録できません。	電源オン （SD カードエラー） （信号未入力） ※録画・記録不可	電源オン （SD カード容量 90%） ※録画・記録は注意
動画ランプ（MOVIE）	――	HDCP エラー ※著作権保護により録画できません。	――	録画中 ※SD カードの挿抜禁止
静止画ランプ（JPEG）	――	HDCP エラー ※著作権保護により記録できません。	――	記録中 ※SD カードの挿抜禁止

ブザー音の動作と意味に関して

本機には、ブザーが内蔵されており、ボタンを押した際に音が鳴ったり、なんらかの問題が発生した際、本機の状態を知らせるため警告音が鳴る様になっています。
ブザー音（「ビッ」という音）の意味は、音の鳴るタイミングによって意味が異なります。

	状態	ブザー音		意味
動画録画時	録画開始 / 録画終了	●	短く 1 回	通常操作音
	録画中に静止画記録（JPEG）ボタンを押す	●●	短く 2 回	操作ミス
静止画記録時	記録	●	短く 1 回	通常操作音
	インターバル記録	●	短く 1 回	通常操作音
	記録中に動画の録画ボタンを押す	●●	短く 2 回	操作ミス
SD カード	容量 90%	▬	長く 1 回	注意
	容量フル	▬ ▬ ▬	長く 3 回	録画・記録不可
	エラー	▬ ▬ ▬	長く 3 回	録画・記録不可
	容量フル、エラー時にボタンを押したとき	●●	短く 2 回	操作ミス
著作権保護	HDCP が有るときにボタンを押す	●●	短く 2 回	操作ミス

※SD カードの「エラー」は、「フォーマット形式が FAT32 ではない」、「記録情報（FAT 情報）が壊れている」、「物理的に破損している」などが考えられます。一度パソコンでフォーマットをやり直してみてください。

本機で録画 / 静止画記録できる機器は？

本機で録画可能な HDMI 端子を持つ機器は下記となります。

●Wii U
●XBOX360（HDMI 端子を持つ機種）
●XBOX ONE
●PlayStation4（最新のファームウェアの機種）
●HDMI 出力端子を持つパソコン
●HDMI 出力端子を持つビデオカメラ

※いずれの映像も著作権保護（HDCP）を含まない映像であること。

本機で録画 / 静止画記録できない機器は？

下記の機器は HDMI 信号に著作権保護（HDCP）が含まれるため、録画や静止画記録できません。

●PlayStation3
●PlayStation Vita TV
●iPhone シリーズ
●iPad シリーズ
●AppleTV
●Android 端末（スマートフォン、タブレットを含む）
●Blu-ray プレイヤー
●DVD プレイヤー
●ビデオレコーダー（ハードディスクレコーダー /Blu-ray レコーダーなど）
●BS/CS/ 地デジチューナー
●CATV チューナー / セットトップボックス

起動時のボタン操作で「動作モード」を変更する

電源「オン（USB 電源接続時）」の際に下記のボタン操作を行うことで、本機の動作モードを変更することができます。

起動時のボタン操作	モード	起動後の動作
動画ボタン（MOVIE）を押しながら起動	静音モード	録画開始・終了、及び静止画記録時にブザー音が鳴らない様になります。
静止画ボタン（JPEG）を押しながら起動	インターバル記録モード（静止画を 10 秒間隔で記録）	静止画ボタンを押すことで、インターバルでの静止画記録開始・終了が可能です。
動画ボタン（MOVIE）と、静止画ボタン（JPEG）を同時に押しながら起動	静音モード＋インターバル撮影モード	静音モードとインターバル撮影モードを同時に使用できるモードです。

※「動作モード」は、本機の電源が一旦「オフ（切）」されると「通常モード」に戻ります。
このため「動作モード」を変更する場合は、毎回上記の操作を行う必要があります。

＜使用上のご注意と警告・禁止事項（重要）＞

本機は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。
下記に記されている「本機」とは、製品本体、付属ケーブルなどを含む製品のことです。

【警告：煙が出たら！】
使用中に、本機から煙が出たり、変な臭いがするときは、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」または「マイコンソフト株式会社 ユーザーサポート係」までご連絡ください。そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。
【警告：本体を振ると大きな音がする時】
製品の品質には万全を期しておりますが、本体を振って、部品が外れているような大きな音がする場合は、すぐに使用を中止し弊社へご連絡ください。
【禁止：ぬれた手でさわらない】
本機をさわる際、ぬれた手で触れないでください。ぬれた手で触ると、感電の恐れがあり、たいへん危険です。
【禁止：家具や暖房器具などに注意】
本機やケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。また、ストーブやエアコンなどの発熱する機器の側で設置・使用しないでください。
【設置環境に注意】
本機の上や下に布を置いたり、テレビの上やAV ラックの中に設置すると、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。
【警告：お子様に注意】
本機をお子様のおられる場所で使用したり、設置しないでください。また、お子様の触れない場所に本機（付属品を含む）を保管してください。特に、電源ケーブルや乾電池の取り扱いには十分お気つけください。
小さなお子様がおられる場所では特に注意が必要です。
【注意：発熱注意】
本機を長時間使用すると、本体が高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。
【禁止：分解・改造禁止】
分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造後の保証・修理はいたしません。分解・改造によって人体に甚大な被害を被ったり、怪我・感電・発火に至ることがあります。
【禁止：直射日光】
本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。製品寿命の低下、動作不良、ケースが変形・変色するなどの症状が発生する恐れがあります。
【禁止：衝撃禁止】
本機は精密機器です。使用中や輸送時に強い衝撃を与えたり、ケーブルを引っ張るなど激しい取り扱いはしないでください。外付けスイッチなどの付属品も同様です。
【禁止：屋外設置は禁止】
本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。
【注意：ホコリ・油煙には注意】
本機を、ホコリの多い場所や油煙のある場所では使用しないでください。故障や漏電、発火の恐れがあります。
【禁止：異物挿入禁止】
本機の穴などから、異物を入れないでください。また、間違って異物が入ってしまった場合は弊社へお問い合わせください。
【注意：雷注意】
雷が光り出したら雷の電気が、ケーブルを伝って、本機に流れ込むことがあり、感電の恐れがあります。なお、本機の操作中または AC アダプターの脱着中に、天災（例えば落雷）によって受けた損害・被害は弊社は保証いたしません。
【禁止：ケーブルを持って引っ張らない】
ケーブルを取り外すときなどに、コードを引っ張らないでください。ケーブルの抜き差しは、必ず本体を手でしっかり固定し、ケーブルのコネクタ部（樹脂部）を持って行ってください。
※端子の金属部分には電気や信号が流れており、感電する恐れがあるため触れないでください。
【禁止：水場で使用禁止】
本機を、水を多く使う場所（お風呂や洗面所、キッチンなど）では絶対にご使用にならないでください。
本機に水がかかったり、製品内部に水が侵入すると、漏電、感電、火災、故障の原因となります。本機は防水処理されておりません。
【注意：ケーブルを接続する時は各機器の電源オフまたはスタンバイにする】
ケーブルの脱着は、必ず接続している全ての機器の電源を「オフ（切）」、または「スタンバイ（待機）」の状態で行ってください。接続している機器の電源がオンのときにケーブルなどを抜き差しすると画面が映らなくなることがあるだけでなく、ショートなどをおこし、各機器が故障する恐れがあります。

【注意：結露に注意】
本機を寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むなど、急激な温度変化により、部品や本体表面に水滴がつく（結露する）ことがあります。
水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、漏電、火災の原因となります。結露した場合は、一定時間経過してから使用してください。
【注意：静電気にご注意ください】
接続の際には静電気にご注意ください。静電気は本機を故障させることがあります。
【注意：ペットにご注意ください】
ペット（動物）の居る部屋では設置・使用しない、もしくはペットの触れることのできない場所に設置してください。ペットがケーブルをかじるなどして傷を付けたり、異常が製品にかかってしまうと、ショートや火災、漏電、故障の原因となります。

＜SD メモリーカードに関する注意事項＞

●SDXC（64Gbyte 以上）には対応しておりません。
●SD メモリーカードに何らかのデーター（ファイル）が入っているときは、必ずバックアップしてからご利用ください。SD メモリーカード内の情報が破損した場合、一切保証できません。
●NTFS やその他の形式でフォーマットすると利用できません。
●現在市販されている多くの SD メモリーカード（WiFi 機能付きを含む）は問題ありませんが、特殊な物では使用する電流値がきわめて高い製品があります。これらの SD メモリーカードを使用すると保護機能が動作し本機が正常に動作しなくなる場合があります。
●短期間に SD メモリーカードの抜き差しを繰り返さないでください。動作不良の原因となるだけでなく故障の原因となることがあります。また、録画中や静止画の保存中（アクセス中）に SD メモリーカードを抜かないでください。記録したデーターが破壊されたり、管理情報を破壊することがあり、大切なデーターが失われます。
●仕様上対応していても、すべての SD メモリーカードで動作を保証するものではありません。相性によって、本機ではご利用頂けない場合があります。

＜USB 電源に関する注意事項＞

●電源にはパソコン（USB Hub を含む）などの USB 端子（5V/500mA x2）または、パワード USB（5V/1A）または、市販の USB 電源アダプター（5V、500mA x2 搭載の市販品）をご利用ください。
●本機は、電流値が 500mA 以上を使用します。必ず付属の USB ケーブル（二股）USB 端子は 2 個使用してください。
なお、パワード USB は電流値を 1A まで利用できるため、USB 端子 1 個でも利用可能です。
●短時間に USB 端子を抜き差しを繰り返さないでください。動作不良の原因となるだけでなく故障の原因となることがあります。

＜ご利用に際しての確認事項＞

●本機に入力可能な映像信号は、480p（60p）、1080i（60i）、720p（60p）、1080p（60p）に対応していることが必要です。
●1080p（60p）は 30p で録画されます。
●パソコンなどの DVI 映像には対応しておりません。本機は HDMI 端子に接続してご利用ください。
●640x480 や 1024x768 などの VESA 解像度には対応しておりません。HDMI ビデオ解像度の映像のみ対応可能です。
●HDMI 切替器（セレクター）やスイッチャー、延長器を組み合わせて使用された際の完全な動作保証はいたしかねます。HDMI 信号は超高速な信号でデジタルの映像や音声を送信します。このためケーブルの延長や機器を挟むことで HDMI 信号の波形は容易に劣化します。このためケーブル品質や接続した機器の個体差・設置環境の影響もあるため、ケーブル延長に関して完全な動作保証はご容赦ください。また、接続の際、品質の悪い HDMI ケーブルを使用すると映像が正し く映らないことがあります。
●CEC 機能（リンク機能など）はスルー接続されています。
●接続時は、本機や本機に接続している機器の電源を「切」または「待機（スタンバイ）」の状態で操作します。本機に接続した機器が稼働した状態での切替えに関しては、動作保証いたしかねます。
●本機を利用すると、サラウンド音声、3D 映像、4K2K 映像、ARC、HEC はご利用頂けません。

＜製品の保証と修理可能な期間に関して＞

●製品の保証に関しては、保証書にてご確認ください。
●本製品の修理可能期間は、生産終了後 5 年以内ですが、部品の生産終了などにより、これよりも短くなる場合があります。生産終了後に修理をご依頼の際は、まずは弊社へお問い合わせください。
●保証規定は日本国内でのみ有効です。

録画・記録したデーターの再生や表示、時計の設定、およびフォーマットに利用可能なパソコンの仕様

＜ハードウェア＞

CPU	：480p/720p 再生 ：intel Core2Duo 2.5GHz 相当以上 1080p（30p）再生：intel Core2Duo 3GHz 相当以上 （Core i シリーズの場合は 2.5GHz 以上）
メモリー	：1Gbyte 以上
ストレージ	：動画データを保存でき、Windows の動作に必要な空き容量があるハードディスク、または SSD が有ること
USB 端子	：本体に USB2.0 端子の空きが 2 個あること
SD カードスロット	：本体内蔵または外付けの SD カードリーダー（SDHC 対応）があること

※パスワード駆動の外付け USB Hub は電源容量不足となるため使用できません。
※CPU の処理速度は、あくまで目安です。

＜ご利用可能な OS＞

動画ファイルの再生や、時計の設定は「Windows7/8/8.1」搭載パソコンを使用してください。
動画の再生は、エクスプローラーから動画ファイルを直接マウスでダブルクリックすることで、「WindowsMediaPlayer」にて再生可能です。
静止画も同様にファイルを直接マウスでダブルクリックすることで Windows の標準機能で表示可能です。

使用可能なSDメモリーカードの種類

本機でご利用可能な記録メディアは下記の様になります。

●SD メモリーカード ：CLASS4 以上（容量 1Gbyte ～ 2GByte）
●SDHC 対応 SD メモリーカード ：CLASS4 以上（容量 4Gbyte ～ 32GByte）
●WiFi 機能付き SD メモリーカード（動作確認済み）：東芝社 FlashAir シリーズ
Transcend 社 WiFi SD カードシリーズ

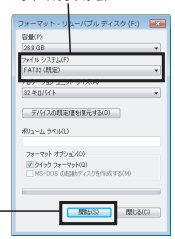
2014 年 8 月現在

※WiFi の設定方法は各 SD メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
※全ての SD メモリーカードでの動作を保証する物ではありません。相性が発生した場合は、SD メモリーカードのメーカーや機種を変えてお試しください。
※WiFi 機能付き SD メモリーカードは弊社で動作を確認した物を記載しています。ただし、上記機種でも今後発売される製品やモデルチェンジ、機能変更によって相性が発生する場合があります。

SD メモリーカードのフォーマット

■フォーマット作業

パソコンの SD カードリーダーに SD メモリーカードを挿入してファーマットを行ってください。
（現在、SD メモリーカード内になんらかのデーターやファイルがある場合は、必ずバックアップしてください）



方法 1：通常のフォーマット方法

Windows のエクスプローラなどから SD メモリーカードのドライブを右クリック→「フォーマット」を選択し、フォーマットを行います。
ファイルシステムを「FAT32」形式に設定してフォーマットを行ってください。

方法 2：メディア自体の管理情報が著しく壊れてしまったときや、SD メモリーカードを正しく認識できないときのフォーマット方法

録画中に SD メモリーカードを抜くなどして、SD メモリーカードが書き込めないほど、管理情報が破壊されてしまったとき、Windows の標準機能ではフォーマットできない場合があります。この様な時は、SD メモリーカードの団体（SD アソシエーション）が配布するフォーマット・アプリケーション（SD/SDHC/SDXC 用 SD フォーマッター）をパソコンにダウンロードしてご利用になってください。

SD アソシエーション Web ページ
https://www.sdcard.org/jp/home/

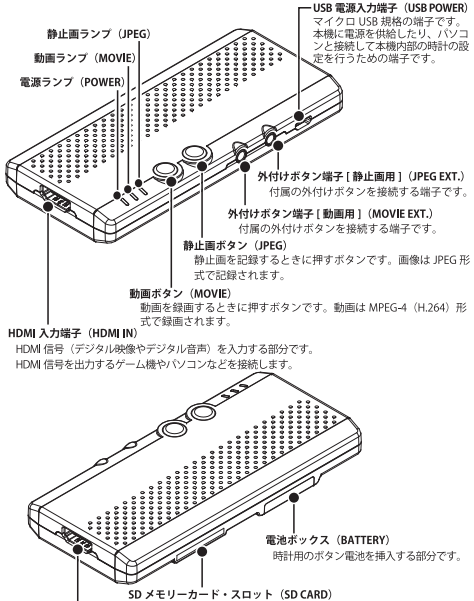
方法 3：「方法 1」や「方法 2」でフォーマットできない、またはパソコンで SD メモリーカードを認識できなくなってしまった場合

なんらかの原因で、SD メモリーカードの管理情報が著しく破壊され、パソコンで認識できなくなってしまった場合は、お手持ちのデジタルカメラで初期化（フォーマット）することで、もう一度 SD メモリーカードを利用できる場合があります。

録画した映像や静止画の著作権に関して

映像や音楽には著作権（または肖像権）があります。このため、お客様が録画や静止画記録したデーターは、著作権を持つメーカー及び個人の許可なく商業的に用いたり、販売することはできません。
録画した映像や音楽、静止画は、あくまでも個人利用の範囲内でご利用いただき、著作権には十分ご配慮ください。なお、ゲームの映像・音楽は、ゲームメーカーによっては一定の条件で、動画サイトなどでの配信・アップロードなどを許可している場合があります。
詳しくは、各ゲームメーカーの Web ページなどでご確認ください。

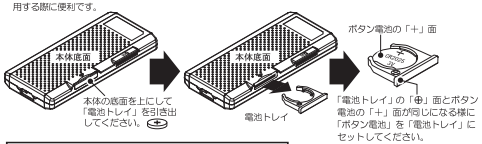
本体各部名称



①電池を入れて時計の準備を行う

本機には録画時のファイルの記録時間やファイル名をわかりやすくするために、時計機能（RTC）が内蔵されています。しかし、時計を動作させるには電池が必要です。下記の操作で、電池を挿入してください。電池の挿入が終わったら同梱の USB ケーブルを使用して、パソコンに接続してください。

※時計の設定を行わなくても本機は使用はできますが、時計を正しく設定した方が記録した動画や静止画をパソコン利用する際に便利です。



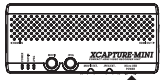
「＋」の面 ＝ 本体底面であることを確認して「電池トレイ」を本体に挿入してください。トレイは奥までしっかり押し込んでください。

＜ボタン電池に関して＞

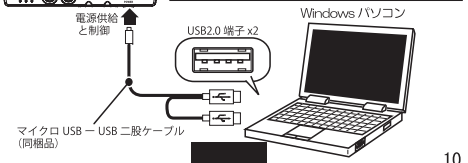
- ●ボタン電池をセットする際は、「＋」と「－」の極性を間違えない様にしてください。
- ●同梱のボタン電池は動作確認用です。電池切れになったら市販のボタン電池をお買い求めください。
  ボタン電池の型式は「CR2025（3V.）」です。
- ●使用済みのボタン電池は、地方自治体の指定する方法で処分してください。
- ●小さなお子様がおられる場合は、ボタン電池の取り扱いに十分ご注意ください。

②パソコンで時計の設定を行う

時計の設定には、Windows パソコンが必要です。
設定アプリケーションは、弊社 Web ページよりダウンロードしてご利用ください。
アプリケーションの利用法に関しても弊社 Web ページの解説をご覧ください。



Web ページ
http://www.micomsoft.co.jp/

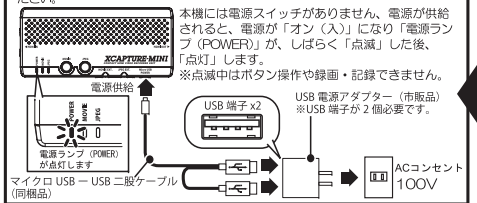


④電源の接続

各機器の接続が終わったら、本機に電源を接続します。電源の接続は、下図を参考に行ってください。本製品には AC アダプターなどの電源が付属しておりません。
電源の供給方法には主に下記の 2 種類があります。

＜方法 1：市販の USB 電源アダプターを使用する＞

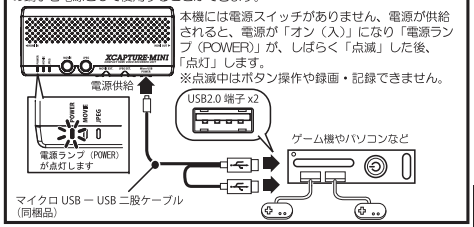
市販の USB 電源アダプター（USB 端子 2 個付）をお買い求めいただき、接続してください。



本機には電源スイッチがありません、電源が供給されると、電源が「オン（入）」になり「電源ランプ（POWER）」が、しばらく「点滅」した後、「点灯」します。
※点滅中はボタン操作や録画・記録できません。

＜方法 2：ゲーム機やパソコンの USB 端子を使用する＞

ご利用のパソコンやゲーム機に USB 端子（USB2.0）が 2 個ある場合は、それらの端子を電源として使用することができます。

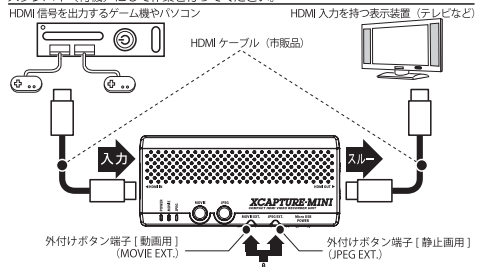


本機には電源スイッチがありません、電源が供給されると、電源が「オン（入）」になり「電源ランプ（POWER）」が、しばらく「点滅」した後、「点灯」します。
※点滅中はボタン操作や録画・記録できません。

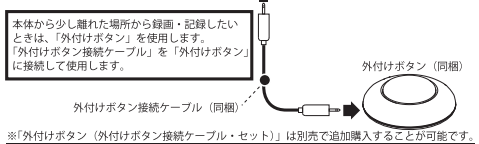
※本機の最大消費電流は 700mA 以下となっております、通常の USB2.0 端子は 500mA までしか電流を供給できないため、ケーブル 1 本のみの接続では、USB 端子の保護回路が働いて電源がロックされたり、機器が再起動するなどの動作をする場合があります。必ず USB2.0 端子は 2 個使用して電源を供給してください。なお、パソコンに「パワード USB 端子（1A まで利用可能な USB2.0 端子の規格）が有る場合は、USB ケーブルは 1 本のみの接続でもかまいません。

③各機器を接続する

録画したい HDMI 信号を出力する機器や、画面を表示するためのテレビは、下図を参考にして接続してください。本機の接続や取り外しは、各機器の電源をオフ（切）またはスタンバイ（待機）にして作業を行ってください。



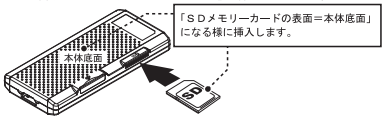
本体から少し離れた場所から録画・記録したいときは、「外付けボタン」を使用します。
「外付けボタン接続ケーブル」を「外付けボタン」に接続して使用します。



※「外付けボタン（外付けボタン接続ケーブル・セット）」は別売で追加購入することが可能です。

⑤「SD メモリーカード」を挿入する

動画や静止画を録画するには市販の SD メモリーカードが必要です。
SD メモリーカードを本機の「SD メモリーカード・スロット」に挿入してください。



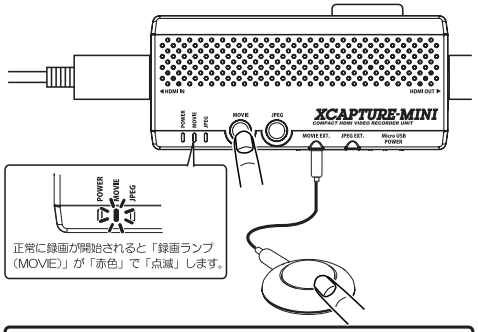
※SD メモリーカードはパソコンなどで「FAT32」形式でフォーマットする必要があります。
※SD メモリーカードの「ライトプロテクト機能（書き込み禁止：LOCK）」は、本機では無視されます。

＜重要＞SD メモリーカード内のデーター は必ずバックアップしてから本機に挿入してください。重要なデーターが破損しても弊社では保証できません。

＜重要＞本体に SD メモリーカードを挿入する際は、必ず正しい向きでカードを挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると SD メモリーカードが曲げいたり抜けなくなる場合があります。

⑥-A　動画を録画する

動画の録画を行うときは、本体の「録画ボタン（MOVIE）」または、「外付けボタン（動画用）」を押してください。これらのボタンをもう一度押すと、録画を終了させることができます。



正常に録画が開始されると「録画ランプ（MOVIE）」が「赤色」で「点滅」します。

＜録画容量の制限に関して＞

本機では SD メモリーカードを FAT32 形式で利用しています。FAT32 には、1 つのファイルの容量に制限があります。このため長時間録画した場合は、録画ファイルが 2 つ以上に分割されます。
なお、録画する映像によって異なりますが、1 つのファイルの容量と録画時間は下記の様になります（参考：解像度が高く、画面の動きが激しい場合は録画時間が短くなります）。

480p[60p 録画］：約 39 分（1 ファイル約 2Gbyte）
720p[60p 録画］：約 19 分（1 ファイル約 2Gbyte）
1080i[30p 録画］：約 17 分（1 ファイル約 2Gbyte）
1080p[30p 録画］：約 18 分（1 ファイル約 2Gbyte）
※録画時間やデーター容量はあくまでも目安です。

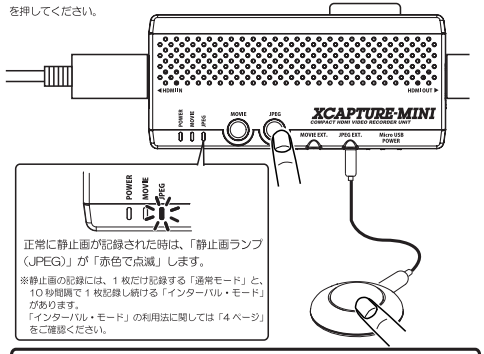
＜禁止：録画中にしてはいけないこと＞

SD メモリーカードへ「録画中（書き込み中）」に下記の操作を行うと、SD メモリーカード内のデーターが破壊されることがあります。くれぐれもご注意ください。
録画中は「動画ランプ（MOVIE）」が「赤色」で「点滅」します。このランプが「赤色」で「点滅」しているときは、絶対に下記の操作をしてはいけません。

●電源を「オフ（切）」してはいけません。
●SD メモリーカードを挿抜してはいけません。
●接続されているケーブル類を挿抜してはいけません。

⑥-B　静止画を記録する

静止画の記録を行うときは、本体の「静止画ボタン（JPEG）」または、「外付けボタン（静止画用）」を押してください。



正常に静止画が記録された時は、「静止画ランプ（JPEG）」が「赤色で点滅」します。
※静止画の記録には、1 枚だけ記録する「通常モード」と、10 秒間隔で 1 枚記録し続ける「インターバル・モード」があります。
「インターバル・モード」の利用法に関しては「4 ページ」をご確認ください。

＜注意：ボタンを連打しても連写はできません＞

ボタンを連打しても、短い期間に連続で何枚も静止画を記録することはできません。次の静止画を記録するための準備に数秒必要です。「JPEG」ランプが消えてからボタンを押してください。

＜注意：SD メモリーカードのアクセス中は、静止画は記録できません＞

- ●動画の録画を行っているときは、静止画を記録することはできません。動画の録画を行っていないときか、動画の録画を終了させてから、静止画を記録するようにしてください。
- ●「JPEG」ランプが点滅しているときは、静止画を SD メモリーカードに静止画データーを書き込んでいる最中であるため、ボタンを押したり連打しても静止画の記録をすることはできません。「JPEG」ランプが消えてからボタンを操作してください。

＜禁止：記録中にしてはいけないこと＞

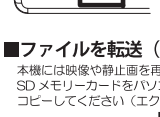
SD メモリーカードへ「記録中（書き込み中）」に下記の操作を行うと、SD メモリーカード内のデーターが破壊されることがあります。くれぐれもご注意ください。
記録中は「静止画ランプ（JPEG）」が「赤色」で「点滅」します。このランプが「赤色」で「点滅」しているときは、絶対に下記の操作をしてはいけません。

●電源を「オフ（切）」してはいけません。
●SD メモリーカードを挿抜してはいけません。
●接続されているケーブル類を挿抜してはいけません。

⑦-A SD メモリーカード経由でパソコンに動画・静止画ファイルを転送

■SD メモリーカードを本体から正しく取り外す

このランプが点灯していないこと（消灯）を確認します。

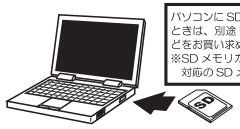


本機から SD メモリーカードを取り外す際は、必ず現在「書き込みが行われていない」ことを確認してください。
動画ランプ（MOVIE）及び静止画ランプ（JPEG）が「点灯・点滅してない」ことをご確認の後、SD メモリーカードを取り外してください。

＜重要＞
書き込みを行っているときに SD メモリーカードを取り外すと、現在書き込みを行っているデーターだけでなく、SD メモリーカード内すべてのデーターが破損する恐れがあります。

■ファイルを転送（コピー）する

本機には映像や静止画を再生機能がありません。録画・記録した動画や静止画は、SD メモリーカードをパソコンの SD メモリーカード・リーダー経由でパソコンにコピーしてください（エクスプローラーなどを操作し手動で転送（コピー）します）。

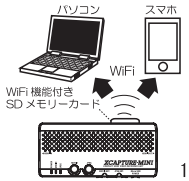


パソコンに SD メモリーカードリーダーが内蔵されていないときは、別途 USB 接続の SD メモリーカード・リーダーなどをお買い求めください。
※SD メモリーカードの容量が 4Gbyte 以上の場合は SDHC 対応の SD メモリーカードリーダーが必要です。

⑦-B WiFi 機能付き SD メモリーカードで動画・静止画ファイルを転送

WiFi 機能付き SD メモリーカードをご利用の際は、本機から SD メモリーカードを取り外す必要はありません。あらかじめお客様が設定した内容で、パソコン / スマートフォンから SD メモリーカード内のファイルを参照・コピーしたり、SD メモリーカードから自動でパソコン / スマートフォンに録画・静止画ファイルを転送することができます。これらの機能や設定方法、操作方法は SD メモリーカードメーカー、及びご利用環境によって異なりますので、それぞれの製品の取り扱い説明書をご覧になって設定・操作を行ってください。

※製品によっては、パソコンやスマートフォンにアプリケーション（ソフトウェア）のインストールが必要になるものがあります。
※パソコンやスマートフォンには WiFi 機能付き SD メモリーカードの通信方式に対応した WiFi 機能が必要です。
※パソコンやスマートフォンの性能によっては、高解像度の動画が、なめらかに再生できない場合があります。



⑧-A　パソコンで動画や静止画を再生・表示する

パソコンに転送した、動画ファイルや静止画ファイルを再生します。
エクスプローラーから、転送したファイルを保存したフォルダーを開いてください。

WiFi 機能付き SD メモリーカードの種類により転送方法は異なりますが、各製品の取扱説明書にしたがって、指定のフォルダーに転送された動画ファイルや静止画ファイルを再生してください。

●Windows7/8/8.1 搭載パソコンでご利用の場合は、エクスプローラーから動画ファイルを直接マウスでダブルクリックすることで「WindowsMediaPlayer」などで再生可能です。
静止画もエクスプローラーから同様にファイルを直接マウスでダブルクリックすることで Windows の標準機能で表示可能です。

パソコンで再生時にエラーメッセージが表示されてしまう場合

パソコンで動画ファイルを再生する際、下記の様なエラーメッセージが表示された場合は、お客様のパソコンでは、動画ファイルを再生できないことがあります。
（プレーヤーアプリの問題、または再生に必要なコーデックがパソコンにインストールされてない、または WindowsXP など未対応の OS を使用しているなど）

「選択されたファイルは WindowsMediaPlayer で認識されない拡張子（.mp4）を持っていますが、再生できることがあります。」

「メディアファイルを正常に再生することができません。」

⑧-B スマートフォンで動画や静止画を再生・表示する

WiFi 機能付き SD メモリーカードの種類やスマートフォンの機種により転送方法が異なりますので、各製品の取扱説明書を参考にスマートフォンを操作してください。

※スマートフォンの性能により、動画の再生能力には違いがあります。機種によっては高解像度の映像が、なめらかに再生されない場合があります。